

Color ~ 自分色 ~

美瑛町そだちの教室通信
11月号
2021年10月26日



日が暮れるのがとても早くなり、朝夕の冷え込みも一段と身にしみる季節になりました。町内の学校では、緊急事態宣言が解除されてからのこの間、様々な行事が目白押しようです。これから11月にかけては、学習発表会や学芸会に向けての準備が盛んになることでしょう。東小学校では、休み時間も教室のあちらこちらから、リコーダーや鍵盤ハーモニカのメロディーを耳にすることが多くなりました。日に日に上手になっていく様子を肌で感じています。子どもたちが精一杯やり遂げる姿を応援していきたいものです。



前期評価・後期計画の面談について

前期評価と後期計画に関わる面談が順調に進んでいます。そだちの教室からは、この半年間の通級指導の内容とお子さんができるようになったことを中心にお伝えしています。保護者の方々からは、ご家庭での様子をお話しいただいておりますが、その中には通級での指導に繋がる情報がたくさんあります。連携の大切さを実感する瞬間です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

お願い・・・そだちの教室のインターフォンの接触が悪いときがあります。面談の際は、正面玄関をご利用ください。午後からの他校通級の際は、そだちの教室玄関（学童玄関と共有）をこれまで同様ご利用ください。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

11月 さんの通級予定 日程表

※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
1 開校記念日	2 自校通級休室 (特別時間割のため)	3 文化の日(休室)	4	5
8	9	10	11 学習発表会 (1・3・5年)	12 学習発表会 (2・4・6年)
15 自校通級開始	16	17	18	19
22	23 勤労感謝の日 (休室)	24	25	26
29	30			

※11月12日(金)の学習発表会終了まで自校通級は休室になります。

※上記の通級予定は、変更になる可能性もあります。その際は、ご連絡いたします。ご理解ください。

「そだちの教室ってどんなことするの？」

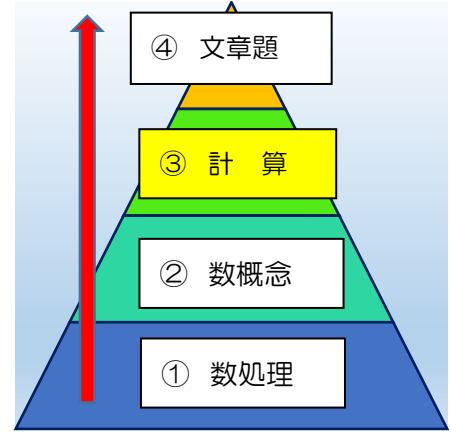
…通級指導教室での「算数」について…

「筆算」について

筆算のつまずきは、大きく2つに分けることができます。

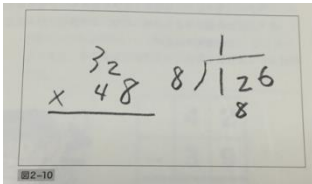
- ① 複数の手続きで混乱してしまう。
- ② 暗算は得意だけれど、筆算で(書く際に)つまずいてしまう。

1つ目の手続きで混乱するタイプは、「継次処理」※や「ワーキングメモリー」※の弱さが背景として考えられます。また、2つめの場合は、「同時処理」※や「空間認知能力」※「目と手の協応」※の弱さが背景として考えられます。一口に筆算が弱いと言ってもその背景は様々です。そだちの教室では、どのような背景が筆算の弱さに繋がっているのかを明らかにして、指導・支援を行っています。



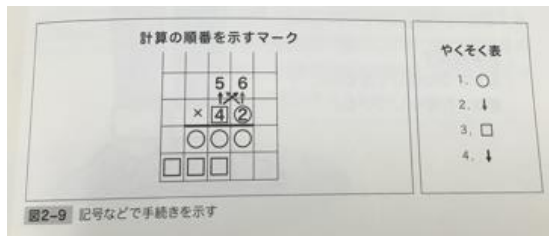
『通常学級で役立つ算数障害の理解と指導法』より 熊谷恵子・山本ゆう 著

<空間認知能力の弱い子の計算例>



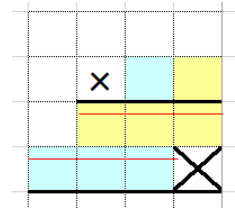
左の計算は、マス目のない空欄に筆算を書いています。位置関係を把握する力が弱いと、位取りがずれてしまい、どの数字を計算すればよいのかその過程で混乱が生じてしまいます。このような子には、マス目のノート等の配慮が必要で、空間認知を高めるビジョントレーニングも有効です。

<手順の理解がしづらい子への支援例>



左の写真は、手順を記号や矢印で表して、その順序に従い計算できる支援です。この手立てでスムーズに計算出来るようになってきたら、少しずつ手がかりを減らすマイナス支援が重要です。

右の計算用紙は、手順の弱い子にも空間認知が弱い子にも使えます。他にも色々な計算用紙が書籍で紹介されていますが、子どもが自分にあつた計算用紙を選択することも大切かもしれません。



<参考文献>『算数障害の理解と指導法』熊谷恵子著 学研

『特別支援教育はじめてのいっぽ 算数のじかん』井上賞子 杉本陽子 著 学研

※美瑛町やそだちの教室が実施しているアセスメント

WISC-4…検査の内容から「ワーキングメモリー」(記憶を一時的に保持して作業・処理する力)や「空間認知」(視覚的な情報を捉えたり、意味づけしたりする力)についてアセスメントすることができます。

K-ABC…検査の内容から「同時処理」(関連性を重視した認知処理)「継次処理」(順序性を重視した認知処理)についてアセスメントすることができます。

WAVES…「空間認知」や「目と手の協応」(目から得た情報を脳で処理し、書字という形で出力する力)についてアセスメントすることができます。